

ABSTRACT

The present invention relates to a wound adhesive tape convenient for carrying and using and provides a wound adhesive tape (4) which comprises a nearly flat-shaped ring like body (1) made of plastic, metal or paper and a predetermined length (usually more than 5m) of adhesive tape convolutely wound around the outer peripheral surface of the ring like core formed in a nearly flat shape and having a relatively thin thickness (usually more than 1mm) with an adhesive surface inside and which is convenient for carrying and using.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-123233

(43)公開日 平成4年(1992)11月6日

(51)Int.Cl.
C 09 J 7/02識別記号
JLA府内整理番号
6770-4J

F I

技術表示箇所

向かい請求済
↓
審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 実願平3-27592

(22)出願日 平成3年(1991)4月22日

(71)出願人 000194332
株式会社スリオンテック
神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地
(72)考案者 田中 徹也
神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内
(72)考案者 楠 勝行
神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内
(72)考案者 大町 芳章
神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内
(74)代理人 弁理士 中村 純之助

最終頁に続く

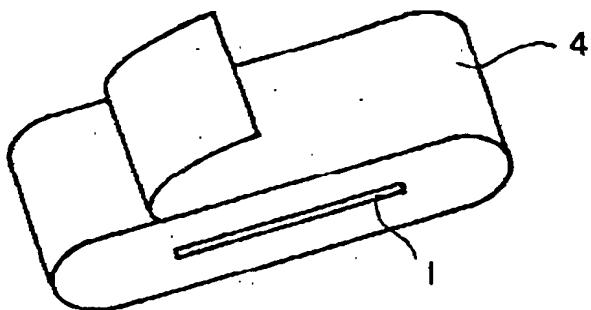
(54)【考案の名称】巻回粘着テープ

(57)【要約】

【目的】物品への貼着あるいは物品の貼着に用いる粘着テープで、特に、携帯及び使用に好適な巻回粘着テープを提供すること。

【構成】合成樹脂製、金属製あるいは紙(合成紙を含む)製の平板に所定幅に切断した長尺の粘着テープを巻回した構成の巻回粘着テープとすることによって上記目的を達成することができる。

[図 1]



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】合成樹脂製、金属製あるいは紙(合成紙を含む)製の平板に所定幅に切断した長尺の粘着テープを巻回したことを特徴とする巻回粘着テープ。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本考案巻回粘着テープの一実施例の概略構成を示す斜視図。

【図 2】本考案巻回粘着テープの他の実施例の構成を示す部分拡大断面図。

【図 3】本考案巻回粘着テープのさらに他の実施例の構成を示す部分拡大断面図。

【図 4】本考案巻回粘着テープの芯の他の構造を示す断面図。

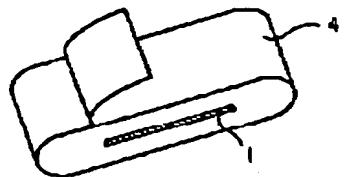
【図 5】本考案巻回粘着テープの芯のさらに他の構造を示す断面図。

【符号の説明】

1…平板、2…離型処理層、3…離型紙、4…多重巻回粘着テープ層、5…中空部。

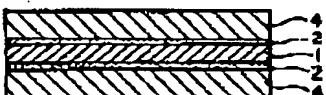
【図 1】

【図 1】



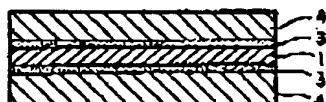
【図 2】

【図 2】



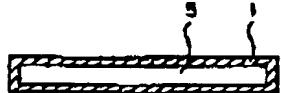
【図 3】

【図 3】



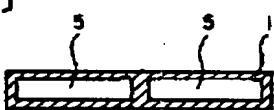
【図 4】

【図 4】



【図 5】

【図 5】



フロントページの続き

(72) 考案者 浜崎 龍次郎
神奈川県川崎市多摩区登戸3819番地 株式
会社スリオンテック内